

各地のたより



松野西小学校の

校庭は昆虫博物館

〈ふれあい推進センター〉

九月二七日、愛媛県松野

町立松野西小学校四年生

二五名を対象に「治山模型



我こそはと珍虫を探す子どもたち

まず、治山模型を使って「森林のある山」と「森林のない山」を再現

「野菜」や「枯葉」、「ペツ

て、珍虫のショータイムが

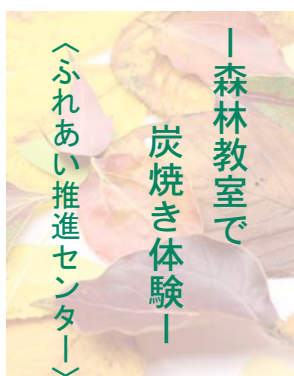
いました。

を使った水の浸透実験」と「土壌にすむ生物」の出前授業を行いました。年間六回の授業もはや四回目、子どもたちも総合学習の時間を待ちかねているらしく、町内で出会うと「次はいつ来るの?」「何をやるの?」と声をかけてくれます。

「森林のない山」の模型からは、いつまでも濁った水が溢れるように流れ、その様子を目の当たりにした子どもたちは、「すごい、すごい!」と前のめりになって二つのビーカーを見比べていました。

捕まえた虫たちを持って教室に戻ると、目の前の生物の正体を一所懸命突き止めようと図鑑片手に顕微鏡を凝視。

一〇月一〇日、愛媛県松野町立松野西小学校の四年生二五名を対象に、今年度五回目となる森林教室(炭焼き体験)を行いました。



し、ジョウロで雨を降らせ、森林の働きを実証しました。

トボトル」土壌生物によってどのように変化するかを確認は、皆静かに観察して

始まりました。もともと大きなカブトムシの幼虫を拡大すると、赤い斑点や毛、湿って光る胴体が一層鮮やかに見え、再び教室は絶叫の嵐、皆、鳥肌を立てて喜んで(!?)いました。

子どもたちって、本当に虫が大好きですね。

「白炭の音色を楽しむ」



始めに、スライドを使って炭の種類や利用法を説明し、白炭と黒炭を使つた実験をしました。ノコギリを使つての切断では、黒炭は簡単に切れるのに、白炭は堅くて時間をかけないとなかなか切れず、黒炭との違いに驚いていました。また、白炭を木の棒でたたいて、「チンチ

ン」と鉄琴のような綺麗な音色がするのを楽しみました。続いて、炭焼き体験では、児童達は、職員から手順や注意点を聞き、ブリキ缶の中に、もみ殻とマツボックリやドングリ、折り紙で折つた鶴や手裏剣など自分で作つた物を詰めて、ドラム缶のたき火の中へ並べました。そして、アルミホイルに包んだサツマイモが炭になるかについての実験もしました。たき火に入れて、約三〇分たつた頃、ブリキ缶から出る煙の色が透明になる一方で、児童達はアルミホイルの中心が気になる様子でした、

どちらもたき火の中から取り出し、ブリキ缶が冷めるのを待つ間にアルミホイルを開けると、サツマイモは皮等の表面だけが黒く焼け、残念ながら炭にはならず、焼き芋となり、みんな美味しく食べました。焼き芋を食べ終わる頃に、冷えた缶を開けると、折り鶴や手裏剣、ドングリ、マツボックリなどはちゃんと炭になっていました。なお、今年最後の六回目となる八面山登山は、十一月に実施し、樹木の紅葉等を楽しむ予定です。



「八面山山頂」

また、遠くに見える三本杭(滑床山一、二六六m)が、土佐藩と宇和島藩と吉田藩とがそれぞれ領地の境として杭をたてたことから「三本杭」と呼ばれるようになったこ



一〇月一九日、高知県宿毛市立小筑紫小学校で五年生一二名を対象に本年度四回目の森林教室「八面山登山」を実施しました。

準備運動の後、登山口を出発し、歩道沿いの樹木やニホンジカの食害などを学習しながら、約一時間で八面山山頂(一、一六五m)に到着しました。山頂では、ここが高知県と愛媛県の県境であることと話をし、登山の疲れも忘れて驚きの声が聞かれました。

とを話すと、驚いていまし
た。

その後、そこから続くブ
ナ林に到着し、ネイチャー
ゲーム「カモフラージュ」
と「フィールドビンゴ」を
楽しみました。

児童達は、八面山登山、
森林教室、ネイチャーゲー
ムを通じて、森林の働きと
大切さを学び、忘れられな
い秋の思い出となったこと
でしょう。



一〇月一八日、岩佐の関
所ノ段ノ谷山で、高知県室
戸市立佐喜浜小学校三々四

年生一五名と保護者四名を
対象に、親子山の学習を実
施しました。

この親子山の学習は、地
域の自然や歴史と文化につ
いて学ぶ事を目的として毎
年実施しているものです。

今回も事前に資料を渡し
学習してもらい、実際に史
跡、樹木を比べながらの学
習となりました。

岩佐の関所においては、
関所の役割、参勤交代の目
的の説明、近くにある「子
育て幽霊」の墓の見学など
をしました。また今回は、
佐喜浜小学校の歌詞にあ
る、岩佐の清水で校歌を合
唱し、歌詞の内容の意味を
実感していました。

その後、野根山街道沿い

岩佐の関所跡での説明の様子



の佐喜浜地区を一望できる
場所で昼食を取った後、天
然杉のある段ノ谷山を指
して歩き、道中特徴的な樹
木の説明や、イノシシの沼
田場（ぬたば）の説明をす
ると、初めて見たのか歓声
をあげていました。

野鳥観察ではバードコー
ルを夢中で鳴らし、それに

野鳥が応える場面もあり、
野鳥を身近に感じていまし
た。

段ノ谷山では三年生が作
成した「木化け杉」「カニ
杉」の看板の取り付けを
行った後、天然スギの名前
の由来などを説明しながら
下っていきました。児童は、
天然スギの個性ある姿にお
どろいたり、メモをとった
りしていました。

下山後、感想を聞いたと
ころ口々に「楽しかった」
と笑顔で答えてくれまし
た。

今回の山の学習で自分た
ちの住む地域の歴史を学ん
だり、普段触れることにな
い樹木や野鳥などを観察す
ることで、とてもよい経験

になったのではないかと思
います。

※佐喜浜小学校歌詞

岩佐の清水絶え間なく
流れてついに海となり
佐喜浜の砂つもりては
野根の山ともなりぬ



岩佐の清水で校歌合唱



た歴史ある街道です。

今回のルートは、北川

村の野川林道から出発し、

装束峠、宿屋杉、米ヶ岡

までの一〇・六kmのコース

となり、生徒を二班に分け、

野根山街道の史跡や代表的

な樹木の説明、野鳥観察を

しながら散策しました。

道中、変わった形をした

樹木や、動物が虫や汚れ

を落とすために泥を浴びる

沼田場の説明をすると初め

て見たのか歓声を上げてい

ました。

また、街道にある史跡の

名前の由来や、妖怪伝説を

説明し、自分の住む地域の

歴史を勉強してもらいまし

た。

野鳥観察では当署で手作

りしたバードコールを配布

すると夢中で音を鳴らして

いました。バードコールに

野鳥が応える場面もあり、

野鳥を身近に感じることが

できたのではないかと思います。

ます。

今年も児童はとても元氣

で、最後に長い下りが数キ

口続く箇所でも、弱音を吐

かず楽しそうにしゃべりな

がら歩いていました。

下山後、感想を聞いたと

ころ口々に「初めて見たも

のが多く楽しかった」と笑

顔で答えてくれました。ま

た保護者の中には小学生の

頃、四郎ヶ野峠から出発す

る、約二〇kmのルートを散

策した人もおり「今回の

ルートは楽しかった」との声

も聞かれました。

野根山街道散策を通じ

て、児童達は普段ふれるこ

とのない樹木や野鳥を観察

することで、より自然を身

近に感じることができたよ

うでした。また、長くてき

つい道のりの中、友達同士

で励まし合ったり、親子で

ふれあったりするなど、良

い思い出作りの機会になっ

たのではないと思います。



宿屋杉の前で“はい”ポーズ